

JRひがし労仙台 業務部情報

2020年2月13日

N O , 0 5 3

JR東労働組合仙台地本業務部

発行責任者：横山裕介

申14号 中編成ワンマンの実施についての解明申し入れ団体交渉②

21項：ダイヤ改正に伴う両数変更や乗車等の変更があるが、お客様に対して、いつからいつまでに、どのような形で、どこの駅でお客さまに周知を行うのか明らかにすること。

《回答》お客さまへの周知は、駅へのポスター掲示等により実施していく考えである。

(会) 大宮支社のエリアも走る線区になるので、大宮支社の営業部と調整をしながら、同様のポスターを当該線区の駅に掲示していく予定である。

(組) 時期はいつからか。ポスターだけで、放送とかはやらないのか。

(会) 調整できしだい。今本社も含めて調整しているところ。駅の放送もさせていただく予定だが、新白河駅ぐらいにはなるが、そのようなかたちではやっていく。

12項：運賃逃脱防止のため、防犯カメラの活用方法等と警察との連携方法等明らかにすること。

《回答》必要な設備は整備していく考えである。

(会) 防犯カメラについては、駅の強固な集札箱、そこをイタズラとか盗難とかのないようにそこに向けた防犯カメラを設置していく。白坂駅については、設置済み。

(組) 無人駅とかでお金のやり取りがあるときに、お客さんからお釣り必要とかは。例えば今までのワンマンだと乗務員が証明書類を書くが、そういったことはやらないのか。

(会) 後日有人駅で払っていただくような形になる。電車にお金を持たなかったりとか、切符を持たないで乗るということ自体が、全くお金払わないで乗るということ自体がありえないので、我々としてはお客さまにお金を払って乗っていただくご準備はしてもらう。

(組) お釣りが出ないようにするっておかしい。お客さまに丁度の金額を用意しとけというのはふざけている。後日払ってもらうっていうのは自己申告なのか。

(会) 乗車証明書は必ず出る機能はありますので、いつお客さまにご乗車いただいたのかは分かるようになっている。おつりのないようお願いしますという呼びかけをしていく。

無人駅での運賃収受には大きな疑問やお客さま目線には立っていない課題を指摘

5項：駆け込み乗車に対する対応方法等やお客様をドアに挟まないための対策を明らかにすること。

《回答》現行どおりの取り扱いとなる。

(組) ホームの車両から離れている部分は見えないと思うが、例えば駆け込みみたいな時には、今まではワンマンミラーがあるから全体が見えていたが、ドア閉めた時に挟る可能性はあのでは。ホーム全体を見渡せるカメラとか、ホームに付けるのはないのか。

(会) 今のところモニターで映る範囲の確認で。今現在もあるホームのミラーと同じようなスタンスで考えてもらえれば。見える部分で認めたら発車しないでもう一回ドアを開けるとかそういうイメージでやってもらえたらと考えている。

(組) 駅によっては駆け込んできたお客さまが確認できない作りもあるのではないか。

(会) 黒磯にしても新白河にしても発車する際には階段が一番後ろではある。基本的には発車時には乗車していたいているっていうのは大前提。黒磯にしても新白河にしても乗り換えのお客さまは可能性はある。乗り換えるの確認は実際の肉眼で確認していただく、閉めるのは実際に運転室に着座してからの取り扱いをしていただければと。

3項：モニターでお客様の乗り降りが、確認できない車両があった場合の取り扱いを明らかにすること。

《回答》発生した事象により対応は異なるが、関係者間で連携を取り対応すると共に、必要な対策を実施していく。

(会) これはモニターの確認の時の故障であるとかそういったことをイメージされていると思いますけども、カメラが1つ壊れた場合とか、全て壊れた場合とか、いろいろなことを想定しながら今マニュアル等の最終的に調整しているところである。関係者間というのは乗務員だけでは対応できない場合は、駅にお願いしたりとかも含めて調整しているところである。駅員が対応するのか運輸区社員が対応するのかも決めていく。